

ふれあい

vol. **100**

社協は社会福祉協議会の略称です。

ふれあい創刊号

ふれあいのまちづくり事業のスタートと同時に広報「ふれあい」を創刊。

B4判2ページ（裏表）
1色刷り
5回 / 年発行

平成4年8月19日

ふれあい73号

表紙がカラーになり写真が目立つように。紙面は現在の形に近づく。

A4判6ページ
2色刷り（表・裏カラー）
5回 / 年発行

平成18年6月28日

ふれあい83号

2色刷りになり、色がピンクに。

A4判6ページ
2色刷り（ピンク）
5回 / 年発行

平成20年5月21日

ふれあい93号

2色刷りの色が社協イメージカラーのブルーに変更。お馴染みの現在の紙面に。

A4判6ページ
2色刷り（ブルー）
4回 / 年発行

平成22年6月1日

Vol.100
Anniversary

五條市社協だより「ふれあい」はみなさまのおかげで創刊100号を迎えることができました。今後も五條市の地域福祉情報を発信してまいりますので、引き続きご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。

- 広報紙でふりかえる社協のあゆみ
- ええとこ見つけ隊 参加者募集
- 台風12号災害支援情報 vol.2
- 赤い羽根地域ささえあい事業 募集
- ボランティアグループ紹介
- ふれあい・いきいきサロン
- エコキャップ収集

この広報紙は赤い羽根共同募金助成金・福祉基金・善意の日募金配分金の一部を使用して作成しています。

広報紙でふりかえる社協のあゆみ



このたび
五條市社協
だより「ふ
れあい」が

皆さまのおかげで第一〇〇号の発行を迎えることができました。一言に一〇〇号と申しますが、長きにわたり発行を継続していくには、関係者の方々の苦勞の歴史があったことだろうと思います。

また、その長い歴史のなかで地域福祉を取り巻く環境は大きく変わり、広報紙はそれぞれの時代の福祉を切り取ってきたと言っても過言ではないでしょう。今後、広報紙にかかわる方々が代わっていったとしても、「ふれあい」はこれからも変わることなく社協と地域福祉の『今』を情報として発信してまいりますので、引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。

社会福祉法人
五條市社会福祉協議会
会長 中 巖

昭和44年に創刊された社協の広報紙ですが、平成4年に「ふれあい」という名称で新たに生まれ変わり、「ふれあい」として今号で100号を迎えます。

そこで、100号を記念し、これまでの広報紙の表紙とともに五條市社協のあゆみを振りかえってみたいと思います。

平成4年 ボランティア特集号



平成2年から始まったボランティア活動活発化のための取り組み（ボラントピア事業）の節目として、ボランティア特集号を発行しました。

また、4年から「ふれあいのまちづくり事業」がスタートし、住民参加による福祉活動を活発化させました。「ふれあい」の創刊もこの事業の一環です。

昭和44年 五條市社協だより創刊号



五條市社会福祉協議会は昭和33年に発足し、44年に社会福祉法人として法人化しました。

現在、実物は残っていませんが、社協の広報紙が創刊された年でもあり、心配ごと相談所の開設など、現在につながる社協として新たなスタートを切りました。

(社協だより17号表紙)

平成12年 「ふれあい」43号



介護保険制度が始まった年であり、福祉を取り巻く環境が大きく変わりました。

社協においてもホームヘルパーの派遣や介護サービス計画の策定など、介護保険制度のもとで事業を始めました。

また、五條市から委託を受けた障害者デイサービス事業がカルム五條で始まりしました。

昭和56年 五條市社協だより25号



昭和50年に二見地区で誕生した地区社協ですが、56年には市内全14地区（当時）に整備され、それぞれの地域における福祉活動が活発化しました。

また、現在の市立福祉センター開所にあわせて社協事務所が移転し、その活動の幅が広がりました。

「ふれあい」発行100号!!

年	内 容
昭和33	五條市社会福祉協議会設立
昭和44	五條市社会福祉協議会法人化 五條市社協だより創刊号発行
昭和50	地区社会福祉協議会誕生
昭和52	ボランティアグループ誕生 給食サービス事業開始
昭和56	事務局を現在の福祉センターへ移転
昭和57	五條市ボランティア連絡協議会設立
昭和60	五條市福祉基金制度創設
平成2	ボラントピア事業開始（H2～3年）
平成4	ふれあいのまちづくり事業開始（H4～8年） ふれあい相談所開設 広報「ふれあい」創刊号発行
平成7	小地域ネットワーク活動開始
平成9	住民会員制度導入
平成11	ふれあいいきいきサロン活動開始
平成12	介護保険事業開始 障害者デイサービス事業の受託運営
平成13	地域福祉権利擁護事業の受託運営
平成17	新五條市社協誕生（1市2村社協合併）
平成20	社協設立50周年
平成24	広報「ふれあい」100号発行

平成17年 「ふれあい」 70号



行政の合併にともない、五條市、西吉野村、大塔村の3つの社協も合併し、新たな五條市社協として生まれ変わりました。

組織も大きくなり、現在も本所と支所としてそれぞれの特性を活かして地域に根ざした福祉活動を展開しています。

平成20年 「ふれあい」 86号



時代とともに様々な変化を遂げてきた社協ですが、この年に設立50周年の節目を迎えました。

今後も「みんながしあわせに暮らせる福祉のまちづくり」という思いを変わることなく持ち続け、次は100周年を目指して、住民のみなさまとともにあゆんでいくことを決意しました。

社協だより…昭和44年（創刊）～平成2年（47号）
ふれあい……平成4年（創刊）～現在（100号）

広報担当者からひとこと

酒井 亮（担当期間：平成23年4月～現在）

「ふれあい」発行から20年。社協だよりの頃から数えると43年。なんと、私の生まれる10年以上も前から存在するこの広報紙。

それだけで歴史の重みを感じますが、その社協事業において、最も長く、歴史ある広報紙づくりに担当者として携われていることに、改めて身の引き締まる思いがします。

担当1年目というまだまだ悩むことばかりの新米ですが、社協広報に脈々と流れる歴史と伝統は引き継ぎながらも、五條市唯一の地域福祉情報紙として「自分の色」が出せるよう、これからも皆さまに楽しんでもらえる紙面づくりを目指していきます。

吉原 一美（担当期間：昭和58年～平成11年）

紙面を作るにあたっては、限られた枚数のうえ「福祉」というイメージにとらわれたり、マンネリ化するなど苦労したのを覚えています。

紙面づくりに悩んでいた時、ある人から「社協だよりは啓発誌やで!!」「住民の皆さまに福祉について考えてもらったり、行動を引き起こしてもらうのが啓発誌や!!」とアドバイスを受けました。

今思えば、それを機に紙面の内容に少しずつですが、幅がでてきたような気がしています。

社協の歴史のごとく「ふれあい」も変遷をたどってきましたが、今後も市民の皆さまに親しまれ読まれる啓発紙面となることを期待しています。

西吉野再発見!!

「ええとこ見つけ隊」参加者募集!!

ええとこ見つけ隊では、子どもたちに「西吉野の良さを伝えたい」、「西吉野を好きになってほしい」という思いや願いを込めて、みんなが楽しめるプログラムを実施します。

あなたも「西吉野のええとこ」を一緒に体験しませんか？

- 対象者** 五條市在住の小・中学生（小学生は保護者同伴可能）
- 参加費** ひとり200円（保護者の方も同額。当日受付でいただきます）
- 定員** 先着40名（保護者も含みます）
- 日時** 平成24年3月11日（日）午前10時00分～（9時30分から受付開始）
- 場所** 西吉野コミュニティーセンター（西吉野町八ツ川451）※各自でご来場ください
- 申込先** 五條市社会福祉協議会 西吉野・大塔支所（西吉野町宗川野97）にお電話で申し込んでください。☎0747-33-0294
- 申込締切** 平成24年2月20日（月）まで

プログラム

午前の部 10:00～

- ① 柿の葉寿司作り
- ② こんにゃく作り
- ③ よもぎ餅作り

昼食（試食）

午後の部 12:30～

- ① 西吉野音頭体験
- ② 西吉野地域の民話

閉会・解散 14:30（予定）



台風12号災害支援情報 vol.2

前号でも特集しました台風12号災害支援の状況ですが、今後も社協では関係機関・団体と連携をとりながら、仮設住宅への支援や大塔町の地域支援など活動を継続していくとともに、住民の皆さまに災害支援の情報を発信することを通じて、大塔町復旧・復興の歩みを見つめ、支えていきたいと思ひます。

朝の声かけの様子



▲仮設住宅（五條）では、各棟で決めたリーダー、サブリーダーが中心となって、声かけなどの活動を行っています。また、須恵岡口地区・大塔地区民生委員による仮設住宅での声かけ訪問活動も行われています。

西本願寺の活動の様子



介護保険事業所協議会施設系サービス部会の活動の様子



婦人会の活動の様子

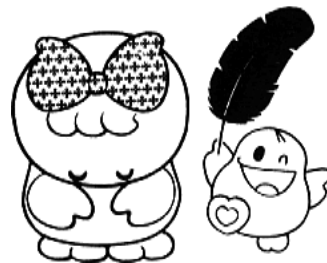


赤十字奉仕団の活動の様子



赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました



平成23年度共同募金実績報告

(単位：円)

戸 別 募 金	1,486,165
街 頭 募 金	432,535
法 人 大 口 募 金	1,593,000
学 校 募 金	72,318
職 域 募 金	917,461
そ の 他 の 募 金	44,837
合 計 金 額	4,546,316

(平成24年1月20日現在)

「じぶんの町を良くするしくみ」を標語に展開された平成23年度赤い羽根共同募金に、皆さま方の温かいご協力をいただきありがとうございました。

募金は、配分委員会での協議を経て、平成24年度の地域福祉活動をすすめる財源として、有益に活用させていただきます。

なお、今年度につきましては、募金の一部を大塔町で発生しました台風12号災害の支援のためにも活用させていただきます。

台風12号災害支援のための使いみち

- ◆避難所から仮設住宅への引っ越し支援
- ◆仮設住宅での炊き出し
- ◆仮設住宅入居者への電気毛布配布
- ◆仮設住宅でのサロン活動(憩いの場づくり)など

平成24年度



赤い羽根地域支えあい助成事業 募集

奈良県共同募金会 五條支会は、地域の福祉活動が進展することを目的に、さまざまな分野において柔軟で多様な住民の活動を支援するため、下記のとおり助成をおこないます。

受 付 期 間	平成24年2月1日(水) ～ 平成24年3月1日(木)
対 象 事 業	平成24年度に五條市民を対象に実施する事業で、健康づくり、子育て、教育、まちづくり、防災、防犯等の先駆的・開拓的な活動、ならびに住民参加の福祉のまちづくりにつながる活動であること。 ※対象外事業 地区社協等の活動で社協補助金対象事業・営利を目的とした事業
助 成 金 額	事業にかかる経費の5分の4以内で10万円を限度とする。
応 募 方 法	所定の助成申請用紙に必要事項を記入のうえご提出下さい。 助成申請用紙は、下記事務局へご請求ください。 ※事前に電話連絡のうえ、お越し下さい。
助成の決定	共同募金会配分委員会で審査のうえ、決定します。 (申請した方すべてが助成を受けられる訳ではありませんのでご了承下さい。)

社会福祉法人 奈良県共同募金会五條支会

お問合せ

〒637-0043 五條市新町3-3-2 福祉センター内

TEL 24-4152 FAX 24-4153



集まれ!

地域のボランティア

ボランティアグループ紹介

～給食サービスボランティア編①～

五條市ボランティア連絡協議会には18のボランティアグループが登録しており、地域で活躍しています。その中で、今回は給食サービスボランティアグループについて紹介します。

給食サービスでは、市内の希望する高齢者世帯等へ月に一度お弁当を作り、民生児童委員や配食ボランティアが、ふれあいや安否確認を目的として配食を行っています。それぞれの地区で実施しており、地区のボランティアグループがお弁当を作っています。また、ボランティアグループが調理から配食まですべてを行っている地区もあり、活動内容はさまざまですが、季節感のあるお弁当や高齢者が食べやすいお弁当など、それぞれ工夫をしながら活動をしています。

本町会（本町地区）

私たちはメンバー10名で毎月約60食のお弁当を作っています。食材は国産にこだわり、おかずたっぷりのお弁当を届けています。お弁当を楽しむにしている人のために、これからも活動を続けていきます。



阪合部会（阪合部地区）

34年前から活動を続けているメンバーをはじめ、皆で楽しく活動しています。地元の米、野菜や果物を使い、食べてくれる人に喜んでもらえるよう、工夫してお弁当を作っています。写真はおはぎを作っている様子です。



山ゆり会（二見地区）

私たちはお弁当作りから配食まですべてを行い、充実した活動をしています。お弁当を待っていてくれる人や喜んでくれる人の姿を楽しみに作っています。魚に笹の葉を敷くなどちょっとした気配りを大切にしています。



牧野会（牧野地区）

豆ご飯やキノコご飯など旬の食材を利用し、季節を感じてもらえるよう工夫して活動しています。7月は夏祭りに合わせて郷土の味を届けようと、柿の葉ずしを作っています。また色合いに気を付けて、食べる人が喜んでくれるよう心がけています。



南宇智さつき会（南宇智地区）

私たちはチームワークを大切に毎月楽しく活動をしています。地元の野菜を持ち寄り、バランスの摂れたお弁当を作っています。手作りのお弁当袋に入れて届けており、「あたたかさ」を大切にしています。



せせらぎの会（西吉野地区）

私たちはカロリーを考えながら、バランスの摂れたお弁当作りを心掛けています。お弁当を届ける時は、利用者さんの調子を聞くなど、調理・配食とも健康面に気を付けて、みんなで楽しく活動をしています。



今回は6つのボランティアグループを紹介しました。他にもたくさんのグループがそれぞれの地域で活躍していますので、随時紹介していきたいと思います。お楽しみに！

ボランティア募集

地域のボランティアさんと、一緒に活動しませんか？

各グループの活動、またはボランティアに興味のある方は、社会福祉協議会までお問い合わせください。

五條市社会福祉協議会（TEL 24-4152）

『ふれあい・いきいきサロン』を知っていますか？

子育てのことを
相談できる
仲間がほしいわ

最近、外に
出ることが
減ったなあ

そう思ったら
『ふれあい・いきいきサロン』の
出番です!!

1 「ふれあい・いきいきサロン」って？

地域にお住まいの住民が気軽に集える場所をつくることを通じて、地域での「仲間づくり」「出会いの場づくり」「健康づくり」をするための活動です。

2 誰が参加するの？

高齢者や子育て中の親など様々で、特に決まりはありません。地域で定期的に集まることで顔なじみの輪を広げることが目的です。

3 誰が運営するの？

サロンは自発的な活動です。地域のボランティアが中心となって、参加者と一緒にサロン活動を行います。

※現在五條市では、田園地区、あづみ台地区において、サロン活動が実施されています。



田園地区子育てサロンの様子



あづみ台地区サロンの様子

サロン活動を始めするには

ステップ① 手伝ってくれる仲間を集めよう

サロンは自発的な活動です。地域で一緒に活動してくれる仲間を集めましょう。

ステップ② 日時と場所を決めよう

個人の自宅、公民館や集会所など、どこでもかまいません。月に1回程度、参加者が気軽に集まることが大事です。

ステップ③ サロンで何をするか考えよう

茶話会、ゲーム、カラオケ、運動、手芸、料理など、お互いに楽しんで交流できれば何でもかまいません。難しく考えず、気軽に取り組みましょう。

ステップ④ 参加者を呼びかけよう

参加者は5～20名の少人数が理想です。チラシの配布や声かけなど、様々な方法で募集しましょう。

ステップ⑤ 準備ができれば始めよう

「楽しく」「気軽に」「無理なく」「自由に」参加者一人ひとりが主役です。

五條市社協がサポートします

開設、運営については、社協へお気軽にご相談ください。

福祉のトピックス ～「NPO法人」とは～

最近よく聞くNPO法人。名前は知っているけど何をしているの？という方は多いのではないのでしょうか。

NPOとは、“Non Profit Organization”の頭文字をとった略語で、直訳すると「民間の非営利組織」となります。活動の内容はまちづくり、福祉や文化芸術など様々で、「身近な問題を自分たちの手で解決したい」「住んでいる町を良くしたい」といった市民の発意に基づき、営利を目的とせず自主的な活動を行う「市民活動団体」がNPOです。そのなかで法律に基づき法人化した団体をNPO法人、任意の団体をNPO団体といいます。

NPO法人は現在全国に約4万法人あり、奈良県には約400の法人があります。また、五條市では7つの法人が、福祉・スポーツ・文化芸術・環境保全・まちづくりなどを目的に活躍しています。

「五條市社協会員」随時募集中

- ◆個人会員 500円(年額一口)
- ◆賛助会員 5,000円(年額一口)

社協では地域福祉活動の財源のひとつとして、「住民会員制度」を設けています。社協活動に賛同してくださる方のご理解とご協力をお願いいたします。

※自治会加入世帯につきましては、毎年自治会を通じて個人会員にご加入をいただいております

『ペットボトルのキャップ』を集めて世界の子どもにワクチンを届けよう!!

平成22年12月から平成23年10月までの間に、住民のみなさまからお寄せいただいたペットボトルのキャップ(エコキャップ)をNPO法人エコキャップ推進協会へ届けさせていただきました。

エコキャップは換金され、ワクチンとして発展途上国の子どもたちに届けられます。

今回収集個数 195,000個

ワクチン換算 244名分

延収集個数 630,000個

延ワクチン換算 787名分

※キャップ約800個でワクチン1人分(20円)になります。

キャップ回収

再資源業者へ売却

ワクチン購入

発展途上国へ

集めたキャップは本会までお持ちください。今後ともご協力をよろしくお願いします。

(財)日本宝くじ協会から福祉車両を寄贈いただきました

奈良県コミュニティ助成事業(日本宝くじ協会助成金)から五條市が車両の購入助成を受け、本会が五條市から受託運営している障害者デイサービスセンターの送迎車両として配置されました。

車両は車いす3台対応のリフト付き車で、利用者の皆さまに安全・快適な送迎を提供できるようになりました。



ひとりで悩まずお気軽に

こんなことで困っていませんか?

家族のこと、子育てのこと、介護のこと、近所とのトラブル、行政に関すること、人権に関することなど、気軽にご相談ください。

【面接相談】 福祉センター(新町3丁目3-2)

実 施 日	相 談 員
月～金曜日 9時～17時	相談コーディネーター
火 曜 日 13時～16時	家事・民事相談員 ※要予約
水 曜 日 13時～16時	行政相談委員
木 曜 日 13時～16時	人権擁護委員
金 曜 日 13時～16時	民生児童委員

【電話相談】 ☎24-2200(五條本所)

☎33-0294(西吉野・大塔支所)

■受付日時 9:00～17:00(月曜～金曜)

※17時以降と休館日は、留守番電話

ご寄付いただきありがとうございました

(敬称略) 平成23年11月16日～平成24年1月15日(単位:円)

福祉基金

金 額	氏 名	住 所	摘 要
35,000	上 野 英 一	今井1-9-6	亡母供養として

善意銀行

金 額	氏 名	住 所	摘 要
55,827	五條市スカウト育成協議会		歳末募金
10,000	石 田 順 子	小和町892	地域福祉のために
12,843	井 上 富 雄	須恵1-11-2	地域福祉のために
10,000	内 田 善 文	今井1-4-31	拾得交付金

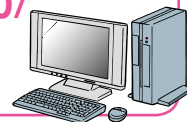
福祉基金…積み立てられた預金の利子を地域福祉の活動資金として役立てます。
善意銀行…皆さんの善意を災害見舞金など市民の福祉向上に役立てます。

今年度の広報紙はホームページでご覧いただけます。

<http://www.shakyo.or.jp/hp/1250/>

五條市社会福祉協議会

検索



ふれあいネットワーク



発行/社会福祉法人五條市社会福祉協議会

〒637-0043 奈良県五條市新町3-3-2

TEL 0747-24-4152

FAX 0747-24-4153